

貝塚公園 施設の評価方法(案)

(1) 既存施設のあり方

貝塚公園再整備後の個別施設の取扱いについては、施設の状況を踏まえて、以下の取扱い案の中から適切なものを選定する。

既存施設のあり方	内容
①現存保存・活用を検討	貝塚公園内で既存の施設を保存・活用する。
②代替施設を検討	既存の施設と同様・同類の施設を整備する。
③撤去や売却・譲渡を検討	現位置からなくなる。

(2) 施設の評価方法(案)

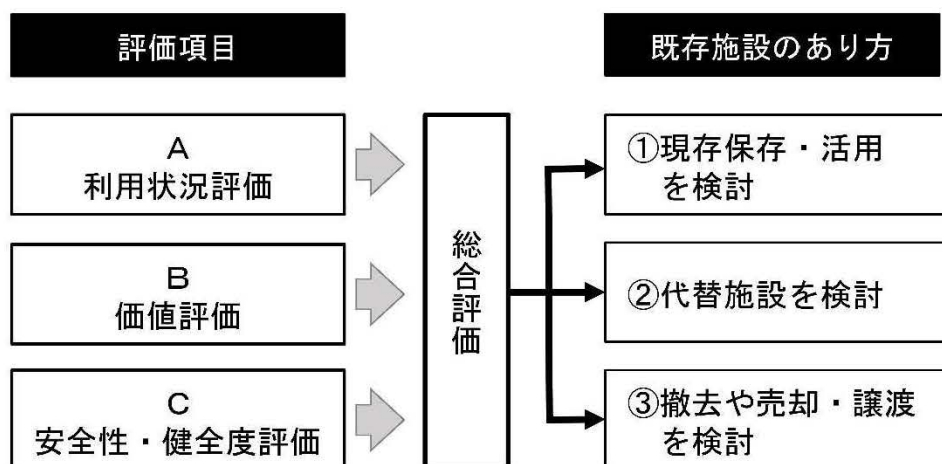
施設の評価は、以下の内容及びフローに基づいて検討する。

初めに「評価項目 A: 利用状況」として、施設の利用者数や、利用者アンケートによる利用者の声などを用いて評価する。

次に、「評価項目 B: 価値」として、施設の歴史的・文化的価値や、インターネット検索状況などを用いて評価する。

そして「評価項目 C: 安全性・健全度」として、施設の安全基準の適合性や、維持管理の内容などを用いて評価する。

最後に、3つの評価と、その他特筆すべき項目を考慮し、総合評価を行う。



評価項目	内容																																																												
	平日と休日の利用者数の合計を算出し、全 20 施設の順位「利用者・見学者数」を整理し、以下、3 つの評価を基本とする。																																																												
A 利用状況	<table><thead><tr><th>施設名</th><th>合計</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>石の山</td><td>1378</td><td>28%</td></tr><tr><td>徒渉池</td><td>657</td><td>13%</td></tr><tr><td>ゴーカート</td><td>546</td><td>11%</td></tr><tr><td>ジグザグ滑り台</td><td>384</td><td>8%</td></tr><tr><td>ブランコ</td><td>340</td><td>7%</td></tr><tr><td>レストハウス</td><td>306</td><td>6%</td></tr><tr><td>展示列車</td><td>284</td><td>6%</td></tr><tr><td>置物遊具</td><td>247</td><td>5%</td></tr><tr><td>観覧席</td><td>183</td><td>4%</td></tr><tr><td>飛行機</td><td>136</td><td>3%</td></tr><tr><td>鉄棒</td><td>127</td><td>3%</td></tr><tr><td>噴水</td><td>114</td><td>2%</td></tr><tr><td>ジープニー・サムロー</td><td>84</td><td>2%</td></tr><tr><td>ローラースケート場</td><td>43</td><td>1%</td></tr><tr><td>日時計</td><td>27</td><td>1%</td></tr><tr><td>人工池</td><td>23</td><td>0%</td></tr><tr><td>桜島の溶岩</td><td>8</td><td>0%</td></tr><tr><td>石碑</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>合計</td><td>4887</td><td>100%</td></tr></tbody></table>	施設名	合計	割合	石の山	1378	28%	徒渉池	657	13%	ゴーカート	546	11%	ジグザグ滑り台	384	8%	ブランコ	340	7%	レストハウス	306	6%	展示列車	284	6%	置物遊具	247	5%	観覧席	183	4%	飛行機	136	3%	鉄棒	127	3%	噴水	114	2%	ジープニー・サムロー	84	2%	ローラースケート場	43	1%	日時計	27	1%	人工池	23	0%	桜島の溶岩	8	0%	石碑	0	0%	合計	4887	100%
	施設名	合計	割合																																																										
	石の山	1378	28%																																																										
徒渉池	657	13%																																																											
ゴーカート	546	11%																																																											
ジグザグ滑り台	384	8%																																																											
ブランコ	340	7%																																																											
レストハウス	306	6%																																																											
展示列車	284	6%																																																											
置物遊具	247	5%																																																											
観覧席	183	4%																																																											
飛行機	136	3%																																																											
鉄棒	127	3%																																																											
噴水	114	2%																																																											
ジープニー・サムロー	84	2%																																																											
ローラースケート場	43	1%																																																											
日時計	27	1%																																																											
人工池	23	0%																																																											
桜島の溶岩	8	0%																																																											
石碑	0	0%																																																											
合計	4887	100%																																																											
	さらに、利用者アンケートにおける利用目的や、対象施設への意見、対象施設のイベント活用などを考慮し、評価する。																																																												

B 価値	以下、3つの評価を行う。 「高」: 有識者や関係者ヒアリングなどにより“歴史的・文化的価値がある”とされた施設または、インターネット検索調査において多く名前が挙がった施設。 「中」: 施設そのものの価値は低いが、利用することに価値が見出されている施設。 「低」: ヒアリングなどにおいて“価値はない”とされた施設、または、インターネット検索調査において名前が挙がってこなかった施設。
C 安全性・健全性	施設の劣化状況や機能の有効性、安全規準の適合性等を有識者や関係者ヒアリングなどにより調査し、以下、3つの評価を行う。 「高」: 施設の状態・機能が健全である施設、または、安全規準を満たす施設。 「中」: 施設の劣化や機能低下は見られる、もしくは、安全規準は満たしていないが、補修・改修により健全な状態になる、または安全規準を満たす施設。 「低」: 施設の劣化や機能低下が著しい、もしくは、安全規準を満たしておらず、改修しても安全性・健全性を確保できない施設。 ※国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に準拠して、日本公園施設業協会が「遊具の安全に関する規準」(安全規準)を定めている。安全規準では、「重大な事故につながるおそれがあるハザードを発見した場合は、適切な措置を講ずること」となっており、本検討でも同規準に従うものとする。